

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 414 号	氏名	友成 真理
学位審査委員	主 査	中嶋 幹郎	
	副 査	塚元 和弘	
	副 査	佐々木 均	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、ドセタキセルの先行投薬がアドリアマイシン誘発心毒性を軽減する機序を解明することで、抗癌剤併用療法における投薬タイミング規定因子を同定しようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>マウスにそれぞれの薬物を投与し、骨髄抑制、肝障害、腎障害及び心毒性を検討すると共に、仔ラット初代心筋細胞培養系や有機ラジカルを用いてドセタキセルのフリーラジカルスクャベンジ能を調べ、さらにラジカル消去能を有する生体内成分に及ぼすドセタキセルの影響を解析したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で解析した結果、ドセタキセルを先行投薬することで心組織中セルロプラスミン活性が増大し、アドリアマイシン投薬により惹起されるフリーラジカル産生を抑制するため、アドリアマイシン誘発心毒性が軽減できることが明らかになった。今後の抗腫瘍薬の至適投薬タイミングの研究への進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は抗腫瘍薬の至適投薬タイミングの研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（薬学）の学位に値するものと判断した。</p>			